科目名	先端科学	担当教員（研究室番号）	森下　直紀（508）	教員への連絡方法（メールアドレス）	

履修年次	4年次前期	科目区分	教養・基礎科目	選択区分	選択	単位数（時間）	1(15)	授業形態	講義	科目等履修生	否
										ｵｰﾌﾟﾝｸﾗｽ	否

科目目的	生命・医療テクノロジーは概して高度で複雑なものであり、その時々の先端科学の存在なくしてはありえない。そこで本授業では、先端科学の発展とその生命・医療テクノロジーへの応用について、歴史的な観点から概説する。またそれらの科学技術の社会的なインパクトについて、主に倫理的な観点から考察する。	
ﾃﾞｨﾌﾟﾛﾏ・ﾎﾟﾘｼｰ（DP）	主要なDP	B　人々の生活に根ざした看護を実践するための幅広い教養と専門的知識を有している。（知識・理解）
	関連するDP	A 人々の生命・尊厳・権利を尊重し、看護専門職者としての倫理観に基づいて行動することができる。（姿勢・態度）
到達目標	・先端科学の発展とその生命・医療テクノロジーへの応用の変遷を歴史的な観点から理解し、説明できる。 ・先端科学を応用した生命・医療テクノロジーをめぐる倫理的論点について理解し、考察できる。□	

成績評価方法（基準）	平常点（30%）、期末レポート（70%）による。
再試験の有無と基準等	再試験あり。追加レポートの提出による。
教科書	授業プリントを使用する。
参考書等	授業時に適宜紹介する。
学生の主体性を伸ばすための教育方法と学生への期待	毎回の授業の最後に作成してもらうコメントペーパーの内容を元に、履修者の興味関心に沿った内容を次回以降の授業内容に可能な限り反映していきます。またグループワークもありますので、ぜひ主体的に授業に関わってください。
備考	

回	学習項目	学習内容	主担当教員	授業方法
１回	オリエンテーション	授業の目的や進め方について説明する。	森下	講義
２回	先端的な生命・医療テクノロジーの歴史（１）	1970年以前の先端科学とその生命・医療テクノロジーへの応用について解説する。	森下	講義
３回	先端的な生命・医療テクノロジーの歴史（２）	1970年～2000年までの先端科学とその生命・医療テクノロジーへの応用について解説する。	森下	講義
４回	先端的な生命・医療テクノロジーの歴史（３）	2000年以降の先端科学とその生命・医療テクノロジーへの応用について解説する。	森下	講義
５回	先端的な生命・医療テクノロジーの倫理（１）□	生殖医療技術の倫理問題について解説する。	森下	講義
６回	先端的な生命・医療テクノロジーの倫理（２）□	生殖医療技術の倫理問題をグループワークによって考察する。	森下	講義 演習
７回	先端的な生命・医療テクノロジーの倫理（３）□	各グループで考察した生殖医療技術の倫理問題を発表し、全体で討論する。	森下	講義 演習
８回	まとめとふり返り	講義を通じて履修者が感じた気づきやより発展的に学習したい内容などを再確認します。	森下	講義

学　習　課　題
・各回の授業後に振り返りのコメントペーパーを作成し提出すること。

実務経験を活かした教育の取組